

H31.3.11、3.19

資料

公益財団法人網走監獄保存財団/博物館網走監獄

令和元年度事業計画（案）について

令和元年度収支予算（案）について

説明資料：令和元年度主要事業の概要

1 重要文化財の保存と価値を高める活用を図る

平成 28 年 2 月 9 日博物館網走監獄において保存公開している建造物の 2 件 8 棟が国の重要文化財に指定され 3 年が経過し、重要文化財建造物を如何に魅せるかを念頭に、展示解説やパンフレット、解説板の多言語化などを整備し、見学ルートも変更を重ねてまいりました。そのような中、来館者の博物館資料に対する認識も変わりつつあります。

今後も未来永劫この貴重な歴史的遺産を守り続けるため、一昨年より進めています「網走監獄重要文化財耐震専門診断事業」を継続してまいります。今年度は最終年度となり、昨年度までの構造診断、地盤調査を踏まえ構造実験を実施し補強案を作成いたします。

さらに、耐震補強案を鑑みながら防災管理も含めた重要文化財全体の保存活用 10 ヶ年計画を完成させます。

(1) 重要文化財建造物の耐震専門診断 事業

最終年度である本年は木造舎房の構造耐震実験を行います。

3 ヶ年間の事業総額は、約 62,000 千円です。平成 31 年度分は 17,600 千円となり国及び網走市に助成申請をしておりましたところ、国より二分の一相当額の 8,818 千円、網走市より 1,000 千円の補助が確定しております。北海道に対しても助成申請を提出いたします。

・継続事業（平成 31 年度終了）	予算額	<u>支出 7, 819 千円</u>
		（支出科目：委託調査費）
		（収入科目：補助金収入 9, 818 千円）

※「耐震専門診断実施積立金」7,819 千円取崩しで対応

(2) 重要文化財の維持にかかる防災体制の確立 事業

- ① 重要文化財の維持にかかる防災体制の確立に取り組み、1 月 26 日の重要文化財防火デーに網走消防署、網走消防団と連携し、放水や避難誘導などの防災訓練を今年度も実施します。
- ② 防災設備の屋外消火栓（放水ノズル、ホース、ケース付き）経年劣化のため監獄歴史館前、舎房階段下の 2 ケ所を更新します。（予算額は「3 展示建造物の維持管理並びに館内の環境整備を図る」の項にて詳細説明）

(3) 建物見守り隊の結成 事業

博物館友の会会員による「建物見守り隊」を結成し文化財活用月間に、重要文化財建造の清掃や来館者への解説、監獄に纏わる食の提供などを通じて重要文化財を広報し活用を高めてまいります。

2 充実した博物館の運営を図る

今後定住人口が減少していく日本では、交流人口を増やすことが極めて重要になってきています。このような中、博物館網走監獄も安定した来館者の確保に向けて、博物館固有の魅力を発掘し、その魅力を資源として様々なメディアを通じて発信していくことが、博物館運営にとって重要な施策となっていきます。

日本の博物館利用者総数は3億人以上と言われる今日においても、単なる古い「過去の物」を展示しているだけでなく、訪れる人々の琴線に触れることのできる歴史的遺産（ヘリテージツーリズム）の価値を創出し、付加価値をつけてご覧いただけるよう博物館の全てのコンテンツを再点検し、当館の最終目標であるユニバーサルミュージアムを目指し博物館活動を進めてまいります。

(1) 博物館社会教育事業

① 体験講座、ワークショップの開催 事業

新年度の物作り体験講座は、博物館隣接の「ニポポの森」を活用した講座と、網走刑務所の刑務作業の追体験、過去から伝わる伝統行事の伝承をテーマに企画をしました。

春の体験講座「桜餅を作ろう」「館内の樹木で笛作り」、夏休み体験講座「漆喰アート写真立てを作ろう」「麦わらで虫かご作り」、刑務作業追体験「ニポポを彫ろう」、秋の体験講座「ランプシェードとキャンドル作り」、冬休み体験講座「クラフトペーパーでカレンダー作り」「かんじきを作ってニポポの森を歩こう」「季節を描こう」など9講座を行い幅広い年代に楽しめるメニューで講座を進めます。

・継続事業

予算額

250千円

(支出科目：臨時雇用賃金、広報費、教育普及費、諸謝費)

② 農園体験ワークショップの開催 事業

長期連続講座として、網走刑務所の特徴である農業を主体に農園体験ワークショップを5月から11月まで9講座開催し、種植え、肥料除草管理、収穫、調理加工実習と一連の作業で自給自足を実践させる目的で行います。今年は、人参、じゃがいも、とうもろこし、サツマイモ、金時豆を作り、スイートポテト、人参ジュースなどに加工、二見湖畔神社祭りへと繋げてまいります。

・継続事業

予算額

400千円

(支出科目：臨時雇用賃金、広報費、教育普及費)

③ 看守長屋の年中行事 事業

「看守長屋の年中行事」は、網走刑務所職員官舎を利用して、日本の古き伝統行事を博物館に来館される全ての人を対象に、体感してもらうものであり、春のお雛様祭り、五月端午の節句、夏の七夕、秋の十五夜、年末鏡餅作り、正月七草、鏡開き、節分行事と季節の移ろいと日本人の知恵と地方独自の風習を紹介するイベントとし誰でも気軽に参加できる形式で行います。

この事業は、近年増加傾向が続いている海外からの入館者に好評で、海外の方が想像する日本らしさを演出できるよう企画してまいります。

・継続事業

予算額

320千円

(支出科目：臨時雇用賃金、消耗品費、教育普及費)

④ 季節イベントの開催 事業

ゴールデンウイークに実施するイベントは、子供の日にちなみ「餅つきと柏餅のプレゼント」、「伝統遊具竹とんぼ、竹笛作りの体験」、「豆わらじ作り」、文化財建造物の資材を活用した「札幌軟石でオリジナルストラップ作り」「重要文化財スタンプラリー」を開催します。

9月三連休期間には二見湖畔神社収穫祭を開催、網走刑務所三眺神輿を網走無窮会の皆様が担ぎ廻る演出や、新そばの早食い競争、紙芝居の上演、屋台や縁日で網走刑務所の懐かしい収穫祭りを再現いたします。イベントを通じて、博物館網走監獄での思い出や体験が博物館固有の資源として認識されるよう何れの普及講座イベントも知恵を絞り進めてまいります。

・継続事業

予算額

1, 100千円

(支出科目：臨時雇用賃金、消耗品費、教育普及費、諸謝費)

(2) 企画展開催 事業

① 名誉開発作業班～戦後復興に果たした功績展

4月から8月まで開催します。戦後の刑務所過剰収容の緩和目的で各地の刑務所から模範囚が北海道に送りこまれ、道路、港、護岸工事の整備を行いました。地域住民から感謝された作業もあります。受刑者が地域復興に果たした功績を昭和23年当時の工事写真、図面、地図、受刑者に名誉作業を称えるために授与した時のメダルやレコードなどの資料を展示します。

② 網走刑務所作業製品 ニポポン人形の魅力展

9月から1月まで開催します。網走刑務所の受刑者により生産され、網走の郷土土産品として販売され続けている「ニポポン人形」についての企画展です。エンジュを原材料に手作業で製作され60年以上にわたるロングセラーであり、最近は地元観光PRのキャラクターなどにデフォルメされているニポポンの魅力、網走市に及ぼした影響などを紹介します。

③ 収蔵資料展

2月から3月まで開催します。博物館が収蔵している常設展示していない貴重な資料「お宝」を公開する秘蔵展を開催します。

何れの企画展も監獄歴史館1階企画展スペースを会場とし、当館収蔵品には限りがあるため、北海道内の各刑務所から資料の貸与を受け開催します。

・継続事業

予算額

700千円

(支出科目：旅費、器具費、教育普及費、印刷製本費)

(3) 友の会への助成

① 博物館網走監獄友の会助成 事業

友の会は、監獄に興味のある方、並びに博物館を支えるサポーターとして11年前から会員を募り、現在団体会員10団体、個人会員46人が入会されています。

新年度も引き続き、博物館でのボランティア活動を通じて生涯学習を実践する場所として、会員それぞれの得意分野を活用し、博物館展示解説活動、イベントスタッフ、体験講座講師として支援をいただきます。また、桜並木観桜会、中央道路開削慰靈碑清掃活動、記念講演会、建物見守り隊活動、根室厚岸の重要文化財巡り友の会バス旅行の実施など会員各自のレベルアップを目標に、高齢化社会に向けて交流人口のモデル例となるよう活力ある友の会活動を実施してまいります。

・継続事業	予算額	<u>300千円</u>
-------	-----	--------------

(支出科目：負担金)

② 『二見桜並木と古道をまもりそだてる会』助成 事業

二見桜並木の保護、啓蒙活動は次第に実を結びつつあります。新年度も網走刑務所に桜の開花時期に並木部分の一般市民開放をお願いしますが、公開時の臨時駐車場安全管理のため警備を外部委託するほか、秋の並木内下草刈り作業外部委託など費用助成を実施します。

・継続事業	予算額	<u>240千円</u>
-------	-----	--------------

(支出科目：植栽雑費、雑費)

(4) 多言語化事業

・再現建造物内展示説明更新 事業

訪日外国人入館者数が年間、約3万5千人にのぼる現状において、日本人来館者と同様に博物館の解説標記を作成し、言葉による障壁を取り除き、展示理解を深め満足度を高めていただけるように継続整備してまいります。

今年度においては、再現構築物の農庫の説明看板5枚についても多言語化し、LED内蔵照明のものに更新いたします。

・継続事業	予算額	<u>1,100千円</u>
-------	-----	----------------

(支出科目：固定資産取得：展示備品)

※農庫内解説版更新積立金1,100千円取崩しで対応

3 展示建造物の維持管理並びに館内の環境整備を図る

博物館網走監獄開館から36年目となり初期に整備された展示建造物及び博物館施設に老朽化が散見しているため改修に取組み、固定資産の延命化を進めます。社会教育施設として求められる博物館機能充実は既存施設の利用方法の検討、一部改修によりコスト削減を配慮して対応を進めてまいります。

(1) 文化財建造物の維持 事業

- ① 裏門笠石再建工事 登録有形文化財・旧網走監獄裏門及び扉の笠石が風化し一部崩壊しているため網走刑務所敷地内産出の軟石によく似た建築資材である札幌軟石を用いて再建を行ないます。

新規事業 予算額 3,100千円
(支出科目：固定資産取得：構築物取得)
※登録有形文化財裏門修理積立金3,100千円取崩しで対応

- ② 二見湖畔神社柾葺屋根修復 平成12年に移築復原した二見湖畔神社は大正時代に二見ヶ岡刑務所敷地内に設置され、移築時点で建築から80年程度経過し部材は著しく腐朽、傷んでいましたが当館職員（当時）作業により、腐朽した材を交換、柾を葺きなおし再建したものです。移築から18年が経過し屋根材の傷みが激しくなり葺き替えが必要となりました。柾本来の希少材である楓（サワラ）材に拘らず、道産の松材を使用した柾材を使用し専門業者による葺き替え工事を施工します。二見湖畔神社の遺構は文化財に指定、登録されていませんが、秋の収穫祭開催に欠かせず、歴史的遺産として大切に修復し保存活用を進めます。

新規事業 予算額 1,900千円
(支出科目：固定資産取得：構築物取得)
※登録有形文化財裏門修理積立金積立金1,900千円取崩しで対応

- ③ 煉瓦造り独居房屋根下地補修 登録有形文化財・旧網走監獄レンガ造り独居房の屋根部材の傷みが散見しており、瓦を一旦降ろし屋根下地腐朽個所の修理と補強を行います。

新規事業 予算額 440千円
(支出科目：修繕費)

(2) 再現展示建造物の維持 事業

- ① 鏡橋防腐剤塗装 再現構築物・鏡橋の竣工から5年が経過し、木製部材への防腐塗料塗装工事を行います。

新規事業 予算額 1,700千円
(支出科目：固定資産取得：構築物取得)
※再現構築物「鏡橋」木部防腐塗装積立金1,700千円取崩しで対応

- ② 高見張り脚部補強 再現構築物高見張り 1 基の木製脚部腐朽個所の部材更新、建築金物による補強を行ないます。

新規事業 予算額 800千円
(支出科目：施設維持保持費)

(3) 博物館機能の充実 事業

- ① まなびや館屋根葺き替え 講演、体験講座、調理実習等を行なっているまなびや館が建築から36年を経過し近年雨漏りが発生している事から、金属屋根葺替え工事を実施します。

新規事業 予算額 3,600千円
(支出科目：固定資産取得：構築物取得)
※まなびや館改修 3,600千円取崩しで対応

- ② 「旧網走監獄水門」情景展示改修 木製筏（いかだ）の腐朽が著しいため FRP 素材を使って再現更新します。筏は実際には浮いているものとせず、池に固定し安定させます。

新規事業 予算額 1,700千円
(支出科目：固定資産取得：構築物取得)
※再現構築物「水門筏」更新 1,700千円取崩しで対応

- ③ 総合管理棟受付部分改修基本設計 入場口のオープンカウンター化を目的とする管理棟受付部分増床改築計画の基本設計を進めます。

新規事業 予算額 1,000千円
(支出科目：委託調査費)

(4) 館内設備安全対策 事業

- ① 復原裁判所棟、重要文化財建造物：教誨堂の入口コンクリート階段及びスロープ部分にゴムチップマットを敷設し安全対策を施工します。

新規事業 予算額 400千円
(支出科目：施設維持保持費)

- ② 園路夜間照明増設 二見湖畔神社周辺及び監獄歴史館付近に夜間照明用 LED 照明柱 2 期を設置し、日没後の安全対策とします。湖畔神社設置外灯は周辺景観や施設に併せたレトロクラシックなデザインのものを採用します。

新規事業 予算額 1,400千円
(支出科目：固定資産取得 環境整備)
※園路夜間照明増設積立金 1,400千円取崩しで対応

- ③ 駐車場停車枠及び誘導ライン改修

新規事業 予算額 551千円
(支出科目：施設維持保持費)

(5) 防災対策 事業

- ① 屋外消火栓2ヶ所の更新 設置から30年以上が経過した監獄歴史館前、舎房園路階段横設置の屋外消火栓（ケース、消火用ノズル・ホース付き）を更新します。

新規事業 予算額 1,700千円

(支出科目：固定資産取得・環境整備)

※屋外消火栓更新積立金1,700千円取崩しで対応

- ② 消防訓練の実施 職員の防災意識を高め不測の事態に備えると共に地域消防署、消防団との連携を進めるため総合防災訓練を1月26日「文化財防火デー」に実施します。

- ③ 防災に係る施設整備計画への取組み 外国人入館者用非常放送音源の製作や緊急自動車進入に対応するゲートや敷地内道路の改修計画、そのほかの防災設備の点検・見直しに取り組みます。

(5) 館内景観整備 事業

- ① 宿根草花壇整備 宿根草による景観整備に継続して取り組みます。地域フラワーマスター事業やボランティアとの連携を企画します。

継続事業 予算額 1,100千円
(支出科目：臨時雇用賃金、植栽雑費)

- ② 敷地内樹木、緑地管理 文化財建造物、展示建造物の維持に支障となる樹木の枝払い、伐採、館内草地除草作業を一部委託作業で進めます。

継続事業 予算額 300千円
(支出科目：植栽雑費)

- ③ 冬期除雪対策 駐車場除雪は引き続き委託作業で実施します。

継続事業 予算額 1,400千円
(支出科目：賃借料)

4 経営の安定を図るため入館者の確保と収益事業の強化

1.入館者の確保

平成 30 年度の博物館網走監獄入館者数は、240,000 人程度（前年度末比 3%程度減少）を見込みますが、5 月 GW 期間が低温、悪天候により道内観光客の動きが低調だった事、9 月に発生した北海道胆振東部地震、全道ブラックアウトの風評、10 月以降の旅行代理店企画団体商品送客減が減少要因です。しかし 12 月以降の入込、特に個人型入館者の動向が好調であったため、落ち込み幅を最小限に抑えることができ、この 10 年間で見ますと前年度に続く好調な入込状況となる見込みとなりました。

依然、交通インフラ拡充も遅々として進まず宿泊数も伸び悩んでいる当地の状況は続いている、如何に好調を維持し続けていかが新年度の大きな課題となります。

(1) 入館者、入館料収入の確保

好調な入館状況を維持することを目標とし、

- ・31 年度の有料入館者目標を 25 万人（30 年度見込み比 4%増）とします。
- ・31 年度の入館料収入を 225 百万円（30 年度見込み比 3%増）とします。

予算額

225,000 千円

(収入科目：入館料収入)

(2) 海外観光客誘致を目的とした事業

国の海外観光客誘致政策に連動し、当館においても増加傾向のある海外個人型観光客（FIT）確保を主題として多言語化など受け入れ態勢の細かな整備、行政や地域観光団体と連携し海外向け情報発信対策を進めます。

① 展示、誘導標識を含む多言語表示、国際共通サインへの切替えを継続して進めます。館内展示は農庫解説版改修に多言語化を行なうほか、10 月に計画されている消費増税時に入場料金表を多言語表示に改修する事とします。

② 網走市、地域連携団体等の実施する海外観光客誘致事業に協力し、海外メディアや旅行代理店、航空会社受入れへの協力や、海外キャンペーンへの参加などの対応を進めます。

(3) 個人型入館者誘致を目的とする情報発信 事業

特に個人型入館者誘致を目的とする情報発信手段としてインターネット・SNS の活用を推進します。広告掲載は販売数の多い全国販売型旅行雑誌に集中し、広報予算の効果的支出を進めます。

(4) マスコミメディア受け入れによる広報 事業

テレビ・雑誌等の取材に丁寧に対応し、映画、ドラマ、PV 撮影等も積極的に受け入れ、漫画や文芸作品の制作協力をすることによりマスコミへの施設の露出頻度を高め、話題づくりを進めます。

2.収益事業の強化

収益事業会計の運営は、細やかな対策を積み重ねることにより増収対策を進め、当初目的である公益事業会計、法人事業会計への収入補填を行なうものとします。

(1) 収益事業会計の目標

- ・収益事業会計の売り上げ目標を、総額 59,960 千円（30年度予算比 1.2% 増）とします。
- ・物品売上収入 29,300 千円、食堂売上収入 23,500 千円、賃貸料収入 6,560 千円、販売委託手数料 600 千円。
 - ① 物販事業は、話題づくりにも繋がる商品企画や取扱商品の再検討を進めるほか、販売管理 POS システムの更新を行い、クレジット、電子決済の導入を進め入館者の利便向上と増収対策を進めます。
 - ② 食堂事業は、広報対策や新メニュー企画開発などを進め利用者増加を図ります。
 - ③ 物産館賃貸事業は、テナント入居者との連携を密にし、当財団が所有する登録商標『網走監獄』を使用する新しい商品開発など相互が健全な運営を行える環境整備を進めます。

予算額 59,960 千円

(収入科目：物品売上収入、食堂売上収入、賃貸料収入、販売委託手数料)

(2) ミュージアムショップPOSレジターミナル更新

- ・昨年の入館管理 POS クラウド化にあわせミュージアムショップ売上管理 POS レジターミナルを更新しクレジット、電子マネー機能を追加し利用者の利便向上を進めます。

予算額 2,000 千円

(支出科目：固定資産取得 什器備品)

※ミュージアムショップ POS レジターミナル更新積立金 2,000 千円取崩しで対応

(3) 来館者手荷物用コインロッカー増設

- ・個人型入館者増加に対応し入場口に設置した手荷物用コインロッカーをキャスター付き旅行かばんも収納できる大きさのものに更新し、既存コインロッカーは来館者用休憩舎(東屋)内に移設し再利用します。

予算額 700 千円

(支出科目：固定資産取得 什器備品)

※入口コインロッカー増設積立金 700 千円取崩しで対応